



みんなで取り組む青少年育成施策の推進

● 現状と課題 ●

地域住民の連帯感の希薄化、核家族化の進行や少子化等を背景として、家庭の悩みを抱えた子どもや社会的に自立できない青年、子育てに自信がないと感じる親が増加傾向にあります。保護者一人ひとりが、青少年の健全育成を図る上で、家庭教育の果たす役割が何より重要であることを認識することが必要です。

多様化する青少年の問題は、家庭だけでは解決できるものではなく、地域全体で見守り、支援をしていく社会のあり方が問われています。地域社会における人間関係の希薄化は、青少年の意識や行動に大きな影響を及ぼしています。

当町では、青少年育成町民会議を中心に、あいさつ運動、非行防止のパトロールや環境浄化活動などの取り組みが行われているところですが、青少年の豊かな感受性・創造性を養い、社会の一員としての責任と役割を自覚した上で自立を促すためには、家庭、地域、学校や関係団体が連携し、青少年自身の育つ力、家庭で育む力、地域全体で支えあう力が一つになり、青少年育成のための健全な社会環境づくりに努めることが重要です。

放課後や休日は、地域活動やボランティア活動などに積極的に取り組む子どもたちがいる一方で、余暇をどのように過ごしたら良いか戸惑う子どもたちも見受けられます。子どもたちが様々な活動を通して、社会の一員としての自覚や協調性を身につけ、良好な人間関係を築くことができる機会を持つことが必要です。

● 目指す方向 ●

① 家庭における教育力の向上を図ります

② 地域における青少年育成活動の促進を図ります

③ 有害情報対策を推進します

④ 青少年の活動機会の充実を図ります

スマートフォンなどの急速な普及により、ネット社会での非行化で非行が見えにくくなっているという点や、青少年が有害情報に接する危険性が高くなっていることを踏まえ、その危険性に関する理解促進を図る取り組みが必要となっています。

● 関連する個別計画 ●

・ 菰野町教育振興基本計画（①～④）

● それぞれの役割 ●

町民・地域の役割	行政の役割
<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭学習や手伝いの習慣を身につける ・ 子どもの育ちを地域で見守るという意識を持つ ・ 携帯電話などに有害情報の閲覧制限をかける ・ 地域や家庭において、様々な体験活動を推進し、青少年が参加しやすいようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年活動団体への支援を行う ・ SNSなどの正しい利用の教育、啓発を行う ・ 青少年の社会参画を推進する ・ 放課後等における子どもの居場所をつくる